

Message

行政マンからの 応援 メッセージ

かしのさんとの仕事は **楽しい!**

広島県 栗根 麻衣子

まちの力になりたいよ。でも市民レベルでは無理なこと
も多い。行政はそれができる立場なのに、持て余してい
ない?—。私がそんな声にハッとされたとき、既に話題をさ
らっていた「おいしい! 広島県」。その事例に広報戦略を学
んだまちも多いでしょう。でも、ふと思うのです。外向け
に手法を示しつつ、実は内向き=私たち公務員=に必要
なこと「できるかできないかではなく、やるかやらない
か」に気づかせてくれたのが、榎野さんなんだと。

坂井市役所 上田 純子



華々しいキャリアなのに、飾らないお人柄の榎野さん。
お話上手で、ウィットに富み、素敵オーラ全開。一度お
話を聞いただけでその魅力の虜になってしまいました。
行政運営に経営やマーケティングの手法を適用しなが
ら、全国自治体の先進モデルを構築されることだと思
います。求心力のある榎野さんといっしょに働くことが
できる神戸市職員の皆さんがうらやましい…。全力で応援
しています!

奈良県生駒市役所 I.O.

みんながエネルギーに
巻き込まれていく感じ
がしますね。

広島県 守田 利貴



かしのさんは経営者なので、**戦略的
視点で事業をとらえて実行しても
らった**という意味で本当に良かつ
たです。

広島県知事 湯崎 英彦

改革派を称する知事、市長の中には、外に向けたパフォーマンスばかり熱心で、自治体経営をなおざりにした結果、市民満足度も上げられず、職員をいたずらに疲弊させる罪深い首長も少なくありません。

「おいしい! 広島県」のプロジェクトを成功させた榎野さんのすごさは、**県民への強烈な発信力はもちろんですが、その真骨頂は、このプロジェクトを通じて、広島県庁の職員が楽しく、輝いて働ける組織を作ったことにあります。**

外部から登用されたハンデをものともせず、榎野さんは、熱意と誠実さをもって職員と接し、小さな実績を上げることで徐々に信頼を勝ち取り、最終的には、**職員が自ら考え、行動を起こせる職場に変えたのです。**

市民への発信力はもちろん、職員とともに内側から神戸を飛躍させることができるのは、榎野孝人さんしかいない、と確信しています。

奈良県生駒市 副市長 小紫 雅史

第三の開港へ。 **今度こそ、神戸を変える。**

神戸リメイクプロジェクト通信 58号



市民に喜ばれ、信頼される市政を 一緒に創りましょう。

～市職員が活躍する行政改革の実現～

**行政改革は人員削減と
コストカットだけでは
ありませんよね。**

一人一人のパフォーマンスを上げ、部局を横断し、市民の喜びを自分の喜びと感じる強い神戸市役所でありたいものです。

日頃「おかしいな?」と書いていても慣習で変えられない事は民間企業でも多々あります。トップが変わるキッカケで、しがらみを断ち、正しいと思うことを真すぐく実現していきましょう。

誰もがフラットに議論し、市民を巻き込み、企業を巻き込み、神戸の街のプライドを取り戻す最大のチャンスです。



かしの **たかひと**
榎野孝人

【略歴】

1963年 大工の息子として神戸市須磨区に生まれる。
板宿小学校、飛松中学校、長田高校、神戸大学経済学部卒業。飛松中学、長田高校では野球部主将としてチームをまとめる。
1986年、(株)リクルート入社。株式会社人事部と言われた会社の人事部に配属。年間2000人の面接、配属、教育などの経験から、人を活かす組織づくりを学ぶ。
その後、雑誌編集部を経て、ダイエーグループの福岡ドームプロジェクトに参画し地域開発に従事。
2000年、(株)アイ・エム・ジェイ代表取締役社長に就任し、ジャスダック上場。当時離職率が25%を超えるIT業界において、離職率7%という定着率、ネット業界就職人気ランキングでもベスト10入りするなど、人を活かす経営を実践。メディアプロデューサーとしても、「NANA」「のぼうの城」などの映画作品を総合プロデュース。
2009年神戸市長選挙に挑み、15万6178票をいただくも惜敗。その後、広島県・広報統括責任者、京都府特別職参与などを歴任し、職場に元気とやりがいを吹き込み、いくつもの自治体から講演依頼を受けている。
著書「情熱革命」「無所属新人」「地域再生7つの視点」「おいしい! 広島県の作り方〜広島県庁の戦略的広報とは何か?〜」
好きな食べ物:お好み焼き、プリン 趣味:野球 好きな言葉:人事を尽くして天命を待つ

討議資料

神戸リメイクプロジェクト 代表 榎野孝人

●ロゴの意味... フリー フェア パッション (Free Fair Passion)。

青は自由を 白は公正を そして赤は情熱を表し、神戸における市民革命の新しい芽を意味しています。

■かしのたかひと公式ホームページ <http://www.kashino.net/>

かしのたかひと後援会 〒658-0047 神戸市東灘区御影 3-2-11-410 TEL.078-843-5595 FAX.078-843-5757 info@kashino.net

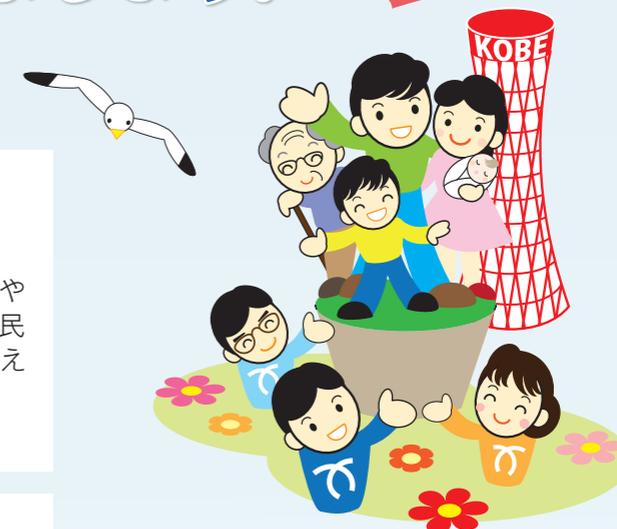
経営感覚とは、

市民のことを一番に考え、
働く職員に能力を発揮してもらい、
成果を最大化することです。



市民が主役の街づくりを 一緒に実現しましょう。

市民が主役!



公会計の見える化

東京都や大阪府などのように、より企業会計や国際公会計基準に準拠した形で公会計を市民にわかりやすく整備し、**本当の財務状態**を見える化します。

外郭団体の徹底した見直し

何団体を減らすというような無意味な目標は立てません。**必要な外郭団体は増やす**し、不必要もしくは**役割を終えたものは無くす**という当たり前の判断をします。
また傷んでいる外郭団体の経営健全化のためには、優秀な経営者を招へいし、補助金を無駄に使わないようにします。ルールに乗った天下り人事は行いませんが、能力のある方の登用は当然行います。

NPOなど地域社会の担い手との連携

アメリカではGDPの10%、雇用の15%を占めると言われるNPO。NPO、NGO、地域委員会、地域支援本部など**新しい地域社会の担い手**を育て、連携を強化していきます。この分野の充実・拡大は新しい神戸の重点施策です。

Business Improvement District (都心の再都市化)

既にニューヨークやナント、大阪でも進められていますが、**公空間の民間利用を促進し、神戸の再都市化**を図ります。錆びついてきている北野や湾岸エリアも民間の知恵と資金を借りて活性化を進めます。三宮を中心とした再開発プロジェクトに加え、神戸の西地区に副都心的エリア作りにも着手します。

都市デザイン戦略室

都市デザイン戦略室を設置し、デザイン都市や姉妹都市戦略を再構築します。**都市外交を活発化**し、40億人の市場を抱えるアジアへの民間企業進出を後押しします。

予算主義から成果主義への転換

目標管理制度を導入し、予算獲得に力を入れるのではなく、その予算から生まれる成果を最大化することに力を注ぐ組織体質に改革します。**頑張っている人がきちんと評価される**人事制度に運用変更します。

組織人事の見直し

人事異動の間隔を見直し、**仕事の習熟度が高い組織**を作り直します。長期プロジェクトに腰を据えて取り組む人材を増やし、民間企業と良いパートナーシップを組める体制を整えます。「せつかく良い形が出来つつあるのに、また異動ですか!」という民間人からの嘆きを見過ぎてはいけません。

区役所への予算・権限委譲と区長公募

西区の人口は約25万人、中央区は約12万6000人、芦屋市は9万5000人、加古川市は約27万人です。神戸市の区長は他都市の市長と同等の規模を任されているわけです。
また区ごとに特徴が違う神戸市154万人の市民満足度を高めるためにも、**区長に権限と予算を委譲**し、市民ニーズをくみ上げ、地域ビジョンに基づいた**きめ細かい行政**を実現します。もちろん内部からの抜擢人事も行います。

直接対話と現場主義の徹底

市長自らが市民の声を直接聞き、行政に活かす場の設定はもちろんのこと、**市職員との直接対話や現場主義**を通じて風通しが良く、現場に強い風土を創ります。事業や施策を進める当事者である**市職員の努力が報われる**、評価される組織が何より必要です。

官か？民か？

よくこうした議論を聞きますが「どちらが優れているか？」という議論はそもそも無意味です。サービスの質、費用を精査し、民間に任せられる事業は民間委託を推進し、行政がやるべきことは収支に関係なく行政が行います。行政として、確実で安定し、かつ質の高いサービスを提供するために「**官プラス民**」という体制で臨みます。